

フードメッセ in にいがた2015

同時開催 にいがた6次化フェア 2015

実施報告書

本州日本海側最大!!

食の総合見本市

開催期間 ▶ 2015年**11月4日**☉~**6日**☉
10:00~17:00 (最終日は16:00まで)

会場 ▶ 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
「展示ホール」



主催 ▶ フードメッセinにいがた運営会議・新潟市

主管 ▶ 日本食糧新聞社・(株)新宣・カシヨ(株)・食と花の世界フォーラム組織委員会

国家戦略特区(農業特区)・新潟市に新たな「食」のビジネスチャンスが集う!

B to Bに特化した国際見本市としてリニューアル。新商品や地域食材の展覧、デモを交えた包装・機器・容器の展示などでにぎわいを見せた。来場バイヤーとの商談だけでなく、出展社間のコラボレーションなど、ビジネスマッチングの場としての機能は一層充実。「農業特区新潟」「6次化」をテーマにした連続セミナーなど、展示以外にも収穫の多い見本市となった。

開催概要

- 名称 ● フードメッセ in にいがた2015
同時開催 ● にいがた6次化フェア2015
会期 ● 2015年11月4日(水)～11月6日(金)
10:00～17:00(最終日は16:00閉場)
入場料 ● 3,000円(税込) ※招待券持参者は無料
会場 ● 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター「展示ホール」
主催 ● フードメッセ in にいがた運営会議・新潟市
主管 ● 日本食糧新聞社・(株)新宣・カシヨ(株)・食と花の世界フォーラム組織委員会
後援 ● 国際連合食糧農業機関日本事務所、農林水産省、外務省、駐新潟大韓民国総領事館、在新潟ロシア連邦総領事館、中華人民共和国駐新潟総領事館、日本貿易振興機構(ジェトロ)新潟貿易情報センター、(株)第四銀行、(株)北越銀行、(株)大光銀行、(株)日本政策金融公庫、(公社)新潟県栄養士会、(公社)全日本司厨士協会関東総合地方本部新潟県本部、(一社)新潟県商工会議所連合会、新潟県商工会連合会、(一社)新潟県調理師会、新潟市食品衛生協会、新潟市食品衛生指導員協議会、新潟市旅館ホテル協同組合(順不同)
(株)農林漁業成長産業化支援機構(A-FIVE)[にいがた6次化フェア]

- 特別協賛 ● (株)ブルボン、亀田製菓(株)、JAグループ新潟、新潟万代島総合企画(株)
協賛 ● 亀田郷土地改良区、(一財)亀田郷地域センター、JA新潟市、JA新潟みらい、新潟日報社、一正蒲鉾(株)、NSGカレッジリーグ、新潟県蒲鉾組合、新津商工会議所、新潟薬科大学、JA越後中央、亀田商工会議所、(株)サンプラス三笠、(株)第四銀行、(株)北越銀行、(株)大光銀行、JA新津さつき、新潟観光コンベンション協会、新潟経済同友会、新潟市産業振興センター【指定管理者新潟市開発公社・愛宕共同事業体】、新潟商工会議所、新潟水産物卸業協同組合、(株)藤井商店、ホテル日航新潟、三菱商事(株)新潟支店、新潟県総合生活協同組合、三幸製菓(株)、JA豊栄(順不同)



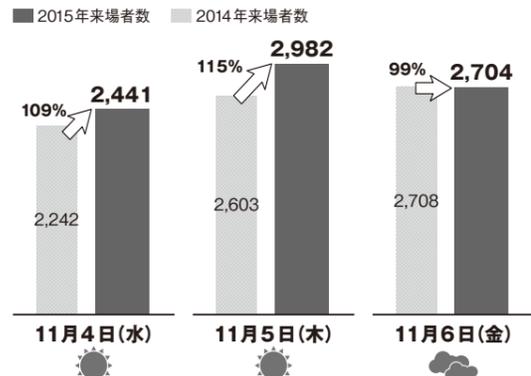
2015年の特徴

新潟県内、近隣県そして首都圏などから293社が出展。フードメッセならではの商材・技術を求めるバイヤーと熱い商談を展開。

準備を整え工夫を凝らした出展ブースが増え、出展社のプレゼンも試食・デモを交えた質の高いものが目立った。バイヤーの滞留時間が増え、三日間をフルに活かした見本市となった。

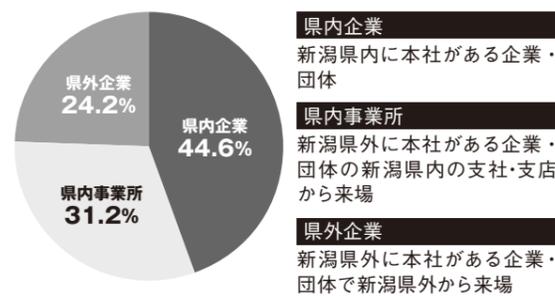
- 新潟市を舞台に食産業の情報が集結。地方にしながら全国規模の見本市を開催。
- 首都圏や近隣県への発信の場としても機能。新潟から全国へ、アウトプットの場へ。
- 農業特区新潟からの食の発信。これからの食を見据えたセミナーも開催。
- 食の新しい分野「6次産業化」に特化したフェアを同時開催。近隣県からの参加もあり、活発な商談が繰り広げられた。

◎フードメッセ in にいがた2015来場社数



2015年来場者
8,127名
(2014年7,553名)

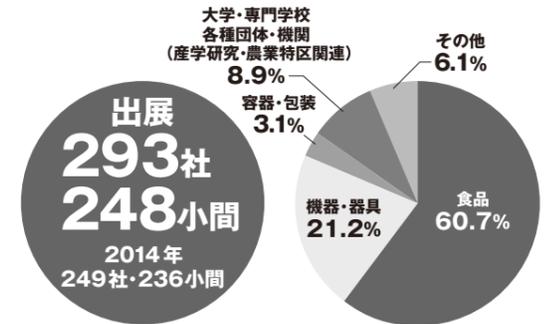
◎バイヤー企業の来場地域分析



※来場した食品関係バイヤーを食糧年鑑、食品メーカー総覧、全国食品流通総覧等を使用して抽出、事業者数で分析

出展社状況

年	出展社計	食品	機器・器具	容器・包装	大学・専門学校各種団体・機関(産学研究・農業特区関連)	その他
2015	293社	178	62	9	26	18
	出展比率	60.7%	21.2%	3.1%	8.9%	6.1%
2014	249社	145	81		4	19
	出展比率	58.3%	32.5%		1.6%	7.6%
2013	266社	148	95		16	7
	出展比率	55.6%	35.8%		6.0%	2.6%

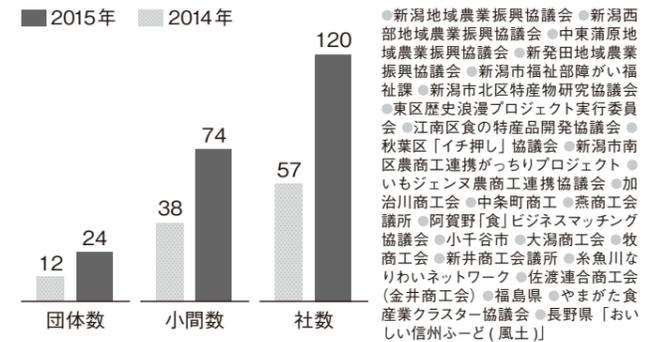


出展の特徴

出展社数の増加とBtoB特化により、熱気にあふれた商談が3日間展開された。

- **個性的なブースデザイン、ユニークなデモが増加**
デザイン性の高いブース、独自のポスターやパンフレット作成などで積極的なアプローチを展開する出展社が増加。バイヤーの目と足を留める「商談会」への変革が進んだ。
- **地方ではなかなか見られない機器の展示も続々登場**
首都圏からの機械メーカーの出展も多く、最新の技術やノウハウが集結。地方にしながら様々な技術や情報に触れられる場として定着。新しい知識・情報を収集する機会となった。
- **県内および近隣県の産業クラスター単位での出展が増加**
県内・県外各地の商工会・協議会などが、地域ブランドを意識した統一されたコンセプトで出展するケースが増加。展示会初出展の事業者・商品もあり、地域食材発掘を狙うバイヤーに好評を博した。
- **「地方から首都圏へ、首都圏から地方へ」をさらに強化**
地域食材に関心の高い首都圏バイヤーの誘客に注力し、昨年比●%の首都圏バイヤーが来場。地域性豊かな出展品と地域への普及・販促を目指すナショナルブランドが揃う見本市となった。

- **地方再生の切り札「6次産業化」を後押し「6次化大賞」を創設**
併催の「6次化フェア」をさらに充実。新潟県をはじめ近隣5県からの出展社を対象に、「6次化大賞」の最終審査会としてオーディションを実施。個別商談や6次産業化中央サポートセンター派遣のプランナーによる個別相談も実施し、盛況となった。
- **共同出展の推移**

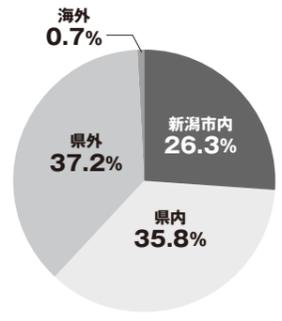


地域別出展分布

「食」の情報発信基地・新潟へ。フードメッセはさらに高みを目指す。

年	出展社計	市内	県内	県外	海外
2015	293社	77	105	109	2
	出展比率	26.3%	35.8%	37.2%	0.7%
2014	249社	57	47	126	19
	出展比率	22.9%	18.9%	50.6%	7.6%

- **海外へのアプローチも視野に**
自社商品や機器などを積極的に販売促進していく中で、これまでよりも広い範囲で販売戦略を立てる出展社が増加。海外へのアプローチのステップの場としても期待される内容となった。
- **近隣県との連携促進の場として活用**
福島県、山形県をはじめ、6次化フェアでは長野県からの出展を得た。出展企業間での交流やノウハウの授受の場となり、さらなる交流に期待が持てる結果となった。



■全国と新潟の距離が縮まる見本市へ

首都圏や近隣県、海外からの出展により、県内外の距離を縮めることにつながった。地方の情報を全国へ発信し、全国の情報をスピーディに取り入れるパイプとしての見本市となった。

出展社県分布

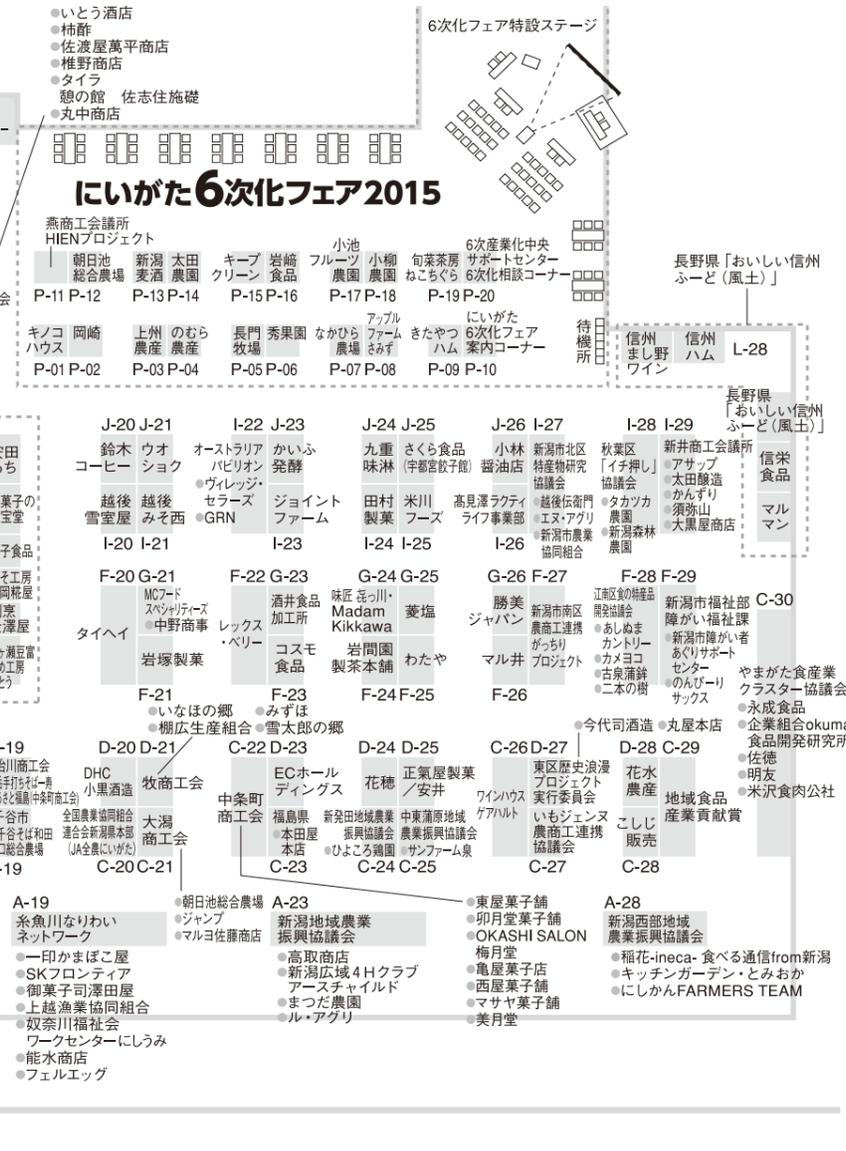
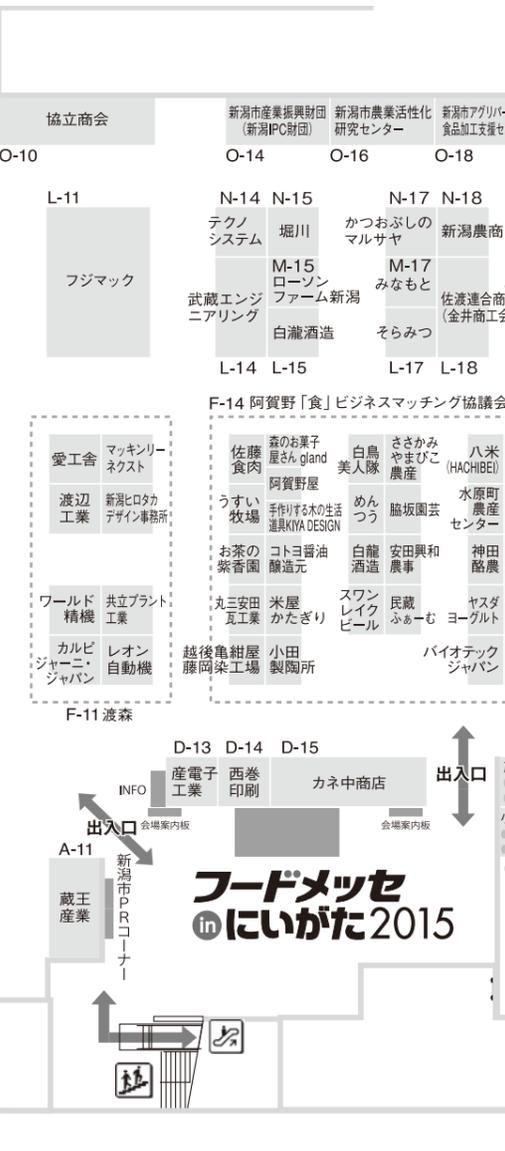
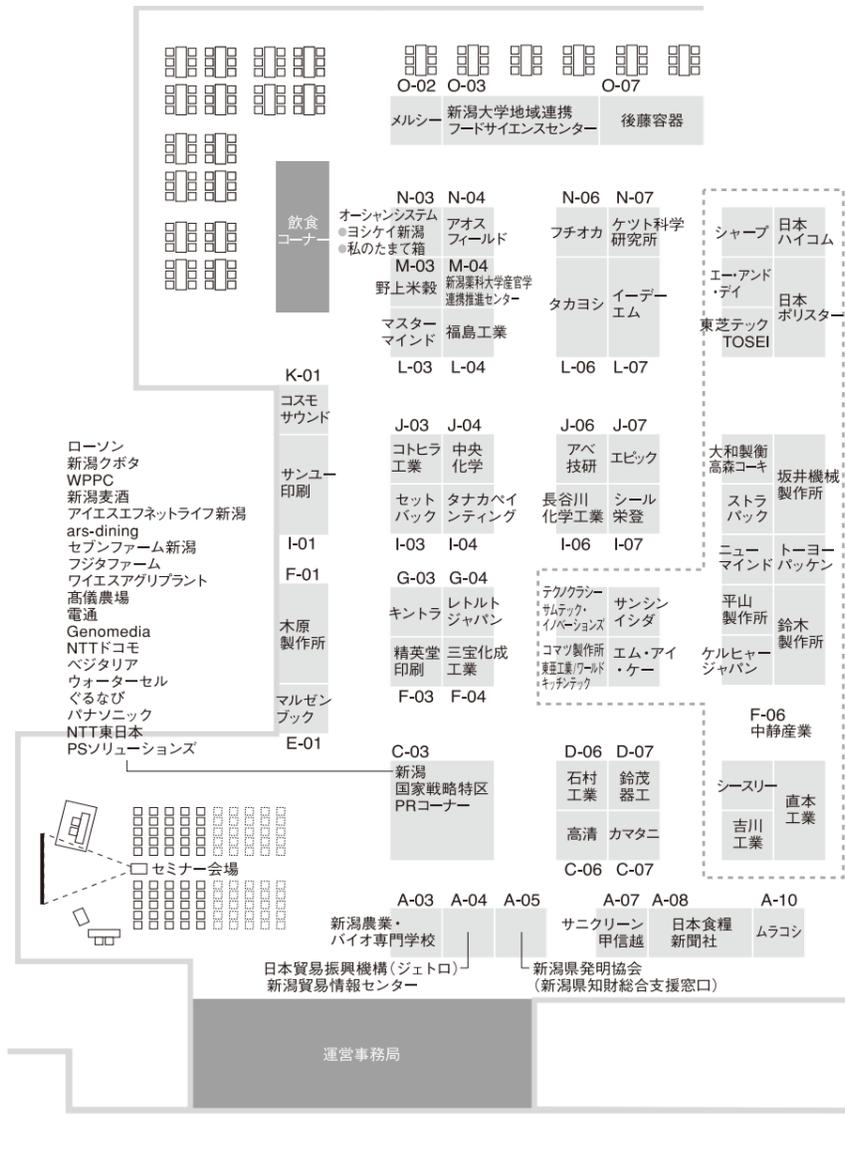
出展社の県内/県外バランスが均衡。エリアへ、全国へ、世界へつながる見本市。

新潟県	182	大阪府	8	福島県	4	福岡県	2	栃木県	1	広島県	1	オーストラリア	2
東京都	36	埼玉県	6	石川県	3	神奈川県	2	岩手県	1	山口県	1	計	293社
長野県	15	群馬県	5	富山県	2	宮城県	2	千葉県	1	京都府	1		
山形県	9	静岡県	4	兵庫県	2	愛知県	1	滋賀県	1	岡山県	1		

出展社一覧 / 会場案内図

食品・食材

出展社名	小間番号
阿賀野「食」ビジネスマッチング協議会	F-14
阿賀野屋	F-14
秋葉区「イチ押し」協議会	I-28
(有) アサップ	I-29
(有) 朝日池総合農場	C-21
農事組合法人あしめまかントリー	F-28
東屋菓子舗	C-22
新井商会議所	I-29
(株) ECホールディングス	D-23
(有) 一印かまぼこ屋	A-19
糸魚川なわいネットワーク	A-19
いとう酒店	L-18
農事組合法人いなほの郷	D-21
今代司酒造 (株)	D-27
いもジェンヌ農商連携協議会	C-27
岩塚製菓 (株)	F-21
岩間園製茶本舗	F-24
ヴェレージ・セラース (株)	I-22
(株) ウオシヨク	J-21
卯月堂菓子舗	C-22
うすい牧場	F-14
永成食品	C-30
(有) SKフロンティア	A-19
(株) 越後伝衛門	I-27
(株) 越後みそ西	I-21
越後雪室屋	I-20
(株) エヌ・アグリ	I-27
MCフードスペシャリティーズ (株)	G-21
大湯商工会	C-21
(株) オーシャンシステム	N-03
太田醸造 (株)	I-29
OKASHI SALON 梅月堂	C-22
(有) お菓子の龍宝堂	F-14
企業組合 okuman 食品開発研究所	C-30
小千谷市	C-19
(有) 小千谷そば和田	C-19
(株) お茶の紫香園	F-14
御菓子司 澤田屋 (資)	A-19
(株) かいふ発酵	J-23
柿酢 (同)	L-18
加治川商工会	D-19
(株) 花穂	D-24
かつおぶしのマルサヤ	N-17
割京 金澤屋	F-14
(株) 勝美ジャパン	G-26
(株) 金子食品	F-14
亀屋菓子店	C-22
農事組合法人カメヨコ	F-28
(有) かんずり	I-29
(株) 神田酪農	F-14
キッチンガーデン・とみおか	A-28
京ヶ瀬豆富 まめ工房いとう	F-14
古泉蒲鉾 (株)	F-28
江南区食の特産品開発協議会	F-28
九重味淋 (株)	J-24
(株) こしじ販売	C-28
コスモ食品 (株)	F-23
コトヨ醤油醸造元	F-14
(資) 小林醤油店	J-26



産学研究

(一社) 新潟県発明協会 (新潟県知財総合支援窓口)	A-05
新潟国家戦略特区PRコーナー	C-03
(株) ローソン / (株) 新潟クボタ / (株) WPPC / 新潟麦酒 (株) / (株) アイエスエフネットライフ新潟 / (株) arsdining / (株) セブンファーム新潟 / (有) フジタファーム / (有) ワイエスアグリブランド / (有) 高橋農場 / (株) 電通 / Genomedia (株) / (株) NTTドコモ / (株) ベジタリア / ウォーターセル (株) / (株) ぐるなび / パナソニック (株) / NTT 東日本 / PSソリューションズ (株) (順不同)	
新潟市アグリパーク 食品加工支援センター	O-18
新潟市農業活性化研究センター	O-16
新潟市障がい者あぐりサポートセンター	F-29
新潟大学地域連携フードサイエンスセンター	O-03
新潟農業・バイオ専門学校	A-03
新潟薬科大学 産官学連携推進センター	M-04

その他

稲花 -ineca- 食べる通信 from 新潟	A-28
越後船艇屋 藤岡染工場	F-14
カマタニ (株)	C-07
(株) コスモサウンド	K-01
(株) サニクリン甲信越	A-07
(有) セットバック	I-03
(株) タカヨシ	L-06
地域食品産業貢献賞	C-29
長野県「おいしい信州ふーど(風土)」	L-28
新潟市アグリパーク 食品加工支援センター	O-18
(公財) 新潟市産業振興財団 (新潟IPC財団)	O-14
新潟西部地域農業振興協議会	A-28
(株) 新潟ヒトカデザイン事務所	F-11
日本食糧新聞社	A-08
日本貿易振興機構(ジェトロ) 新潟貿易情報センター	A-04
(株) マルゼンブック	E-01
丸三安田瓦工業 (株)	F-14
(株) メルシー	O-02

いがた6次化フェア2015

(有) 朝日池総合農場	P-12
(有) アップルファームさみず	P-08
岩崎食品	P-16
太田農場	P-14
(有) 岡崎	P-02
(有) キープクリーン	P-15
きたやつハム (株)	P-09
(株) キノコハウス	P-01
小池フルーツ農園	P-17
小柳農園	P-18
(株) 秀果園	P-06
旬菜茶房ねこちくら	P-19
(株) 上州農産	P-03
燕商工会議所HIENプロジェクト	P-11
(株) 長門農場	P-05
(株) なかひら農場	P-07
新潟麦酒 (株)	P-13
いがた6次化フェア案内コーナー	P-10
(有) のむら農産	P-04
6次産業化中央サポートセンター	P-20
6次化相談コーナー	



F-14	(株) 鈴木コーヒー	J-20	のんびりサクセス	F-29	本田屋本店 (有)	C-23	ヨシケイ新潟	N-03	(株) エム・アイ・ケー	F-06	(有) セットバック	I-03	武蔵エンジニアリング (株)	L-14
G-23	スワンレイクビール	F-14	新潟市南区農工商連携がっちりプロジェクト	F-27	牧商工会	D-21	(有) 米川フーズ	I-25	(有) 小田製陶所	F-14	高森コーキ (株)	F-06	(株) ムラコシ	A-10
J-25	全国農業協同組合連合会新潟本部 (JA全農いがた)	C-20	新潟西部地域農業振興協議会	A-28	正気屋製菓 (株) / 安井 (株)	D-25	(株) 米沢食肉公社	D-25	(株) カネ中商店	C-30	(株) タナカペインティング	I-04	大和製衛 (株)	F-06
F-14	そらみつ (株)	L-17	新潟地域農業振興協議会	A-23	マサヤ菓子舗	C-22	(株) 菱塩	C-22	(株) ル・アグリ	A-23	テクノクラシー (株)	F-06	吉川工業 (株)	F-06
F-14	(有) 大黒屋商店	C-30	(有) 新潟森林農園	I-28	まつだ農園	A-23	ル・アグリ	A-23	(株) 木原製作所	F-22	(株) テクノシステム	N-14	レオン自動車 (株)	F-11
L-18	(株) タイハイ (株)	L-18	にしかん FARMERS TEAM	A-28	(株) マル井	F-26	(株) レックス・ベリー	F-26	(株) 協立商會	M-15	(株) ローソンファーム新潟	O-10	(有) レトルトジャパン	F-06
L-18	(株) タイラ 憩の館 佐志住施設	L-18	西屋菓子舗	C-22	丸中商店	L-18	(株) ローソンファーム新潟	L-18	(株) ローンシステム	M-15	共立プラント工業 (株)	F-11	(株) ワールドキッチンテック	F-06
L-18	タカツカ農園	L-18	二本の樹	F-28	マルマン (株)	L-28	ワインハウスグアハルト (株)	L-28	フジマック	O-10	東亜工業 (株)	N-07	(株) TOSEI	F-06
D-19	高取商店	D-19	(株) 丸屋本店	A-19	丸中商店	F-28	マルマン (株)	F-28	(株) トーヨーパッケン	M-15	(株) 東芝テック (株)	N-07	(株) トーヨーパッケン	F-06
C-25	(株) 高見澤 ラクティライフ事業部	C-25	(株) サンファーム泉	C-25	(株) サンファーム泉	C-25	(株) サンファーム泉	C-25	(株) コトヒラ工業 (株)	O-07	農事組合法人欄広生産組合	O-07	(株) 直本工業 (株)	F-06
I-22	農事組合法人欄広生産組合	I-22	(有) 谷口総合農場	L-28	(有) 谷口総合農場	L-28	(有) 谷口総合農場	L-28	(株) 新潟農商	J-03	農事組合法人カメヨコ	F-28	(株) 新潟農商	F-06
C-24	(有) 田村製菓 (有)	C-24	民蔵ふあーむ	C-21	民蔵ふあーむ	F-14	農事組合法人みずほ	F-14	(株) 新潟農商	F-06	農事組合法人カメヨコ	F-28	(株) 新潟農商	F-06
C-21	田村製菓 (有)	C-21	民蔵ふあーむ	C-21	民蔵ふあーむ	F-14	農事組合法人みずほ	F-14	(株) 新潟農商	F-06	農事組合法人カメヨコ	F-28	(株) 新潟農商	F-06
I-29	須弥山 (同)	I-29	中東蒲原地域農業振興協議会	C-25	八木 (HACHIBEI)	F-14	(有) 花水農産	F-14	(株) 新潟農商	F-06	農事組合法人カメヨコ	F-28	(株) 新潟農商	F-06
I-23	みそ工房 月岡祇屋	F-14	(株) DHC 小黒酒造	D-20	東区歴史浪漫プロジェクト実行委員会	D-27	森のお菓子屋さん gland	D-27	(株) 新潟農商	F-06	農事組合法人カメヨコ	F-28	(株) 新潟農商	F-06
A-19	(株) DHC 小黒酒造	D-20	東区歴史浪漫プロジェクト実行委員会	C-22	(株) ひよこ鶏園	C-24	(有) 安田興和農事	C-24	(有) 安田興和農事	F-14	農事組合法人カメヨコ	F-28	(株) 新潟農商	F-06
G-21	フェルエッグ	A-19	(有) 安田もち	A-19	(有) 安田もち	F-14	(株) イシダ	F-14	(株) イシダ	F-14	農事組合法人カメヨコ	F-28	(株) 新潟農商	F-06
A-23	福島県	A-23	やまがた食産業クラスター協議会	D-19	やまがた食産業クラスター協議会	C-30	(株) エー・アンド・デイ	F-14	(株) エー・アンド・デイ	F-14	農事組合法人カメヨコ	F-28	(株) 新潟農商	F-06
I-27	(株) 堀川	N-15	農事組合法人雪太郎の郷	N-15	農事組合法人雪太郎の郷	D-21	(株) エピック	J-07	ストラパック (株)	J-07	農事組合法人カメヨコ	F-28	(株) 新潟農商	F-06

機器・器具

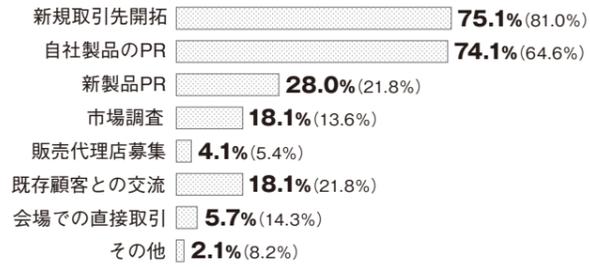
F-11	(株) 愛工舎製作所	M-17	(株) 坂井機械製作所	F-11	(株) 坂井機械製作所
C-30	(株) アオスフィールド	C-30	(株) アオスフィールド	N-04	サムテック・インベーションズ (株)
F-14	阿賀野「食」ビジネスマッチング協議会	F-14	(株) アベ技研	F-14	(株) アベ技研
F-14	(株) アイシダ	F-14	(株) アイシダ	J-06	産電子工業 (株)
F-06	(株) シャープ (株)	F-06	(株) シャープ (株)	L-07	(株) シーソー
D-06	(株) 鈴木製作所	D-06	(株) 鈴木製作所	F-06	(株) 鈴木製作所
F-06	鈴木製菓 (株)	F-06	鈴木製菓 (株)	D-07	鈴木製菓 (株)
F-06	鈴木製菓 (株)	F-06	鈴木製菓 (株)	D-07	鈴木製菓 (株)
F-06	鈴木製菓 (株)	F-06	鈴木製菓 (株)	D-07	鈴木製菓 (株)

容器・包装

F-14	阿賀野「食」ビジネスマッチング協議会	F-14	阿賀野「食」ビジネスマッチング協議会
F-06	手作りする木の生活道具 KIYA DESIGN	F-14	手作りする木の生活道具 KIYA DESIGN
F-06	(株) キントラ	F-06	(株) キントラ
G-03	三宝化成工業 (株)	G-03	三宝化成工業 (株)
F-04	(株) サンユー印刷	F-04	(株) サンユー印刷
I-07	シール栄登 (株)	I-07	シール栄登 (株)
F-03	精英堂印刷 (株)	F-03	精英堂印刷 (株)
C-06	(株) 高橋	C-06	(株) 高橋
J-04	中央化学 (株)	J-04	中央化学 (株)
D-14	西巻印刷 (株)	D-14	西巻印刷 (株)

出展社アンケート

Q1 今回はどのような目的で出展なさいましたか？(複数回答可)



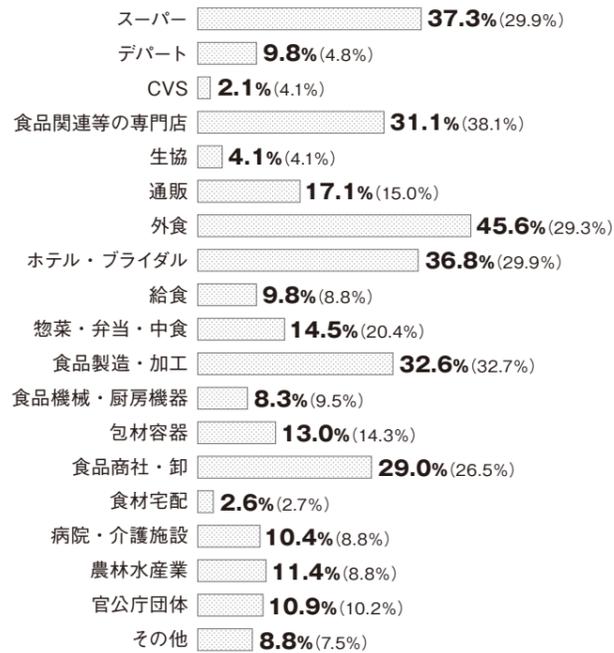
Q3 ブース来訪者総数は何名でしたか？



Q5 会期中の成約件数は何件でしたか？(見込含む)



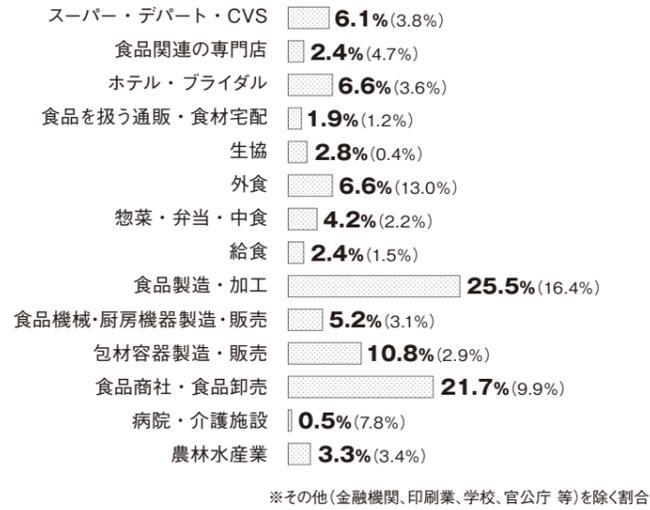
Q7 商談を行った業種を教えてください(複数回答可)



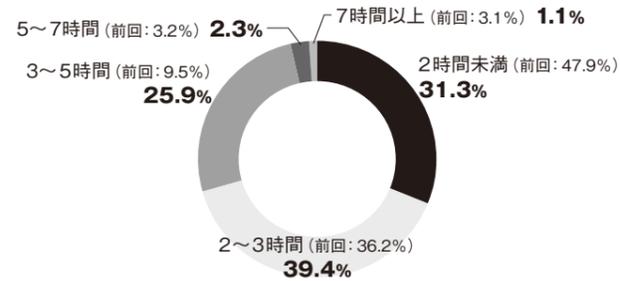
◎今後もアンケートを実施し、追跡調査を行う予定です。※()内は前回のデータです。

来場者アンケート

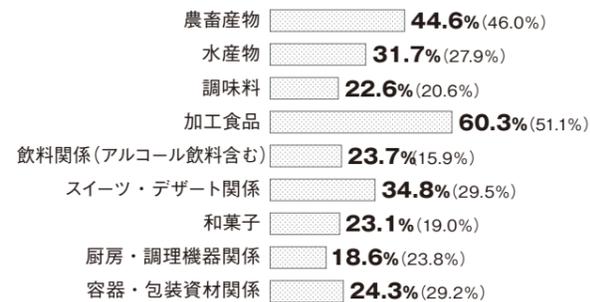
Q1 業種を教えてください



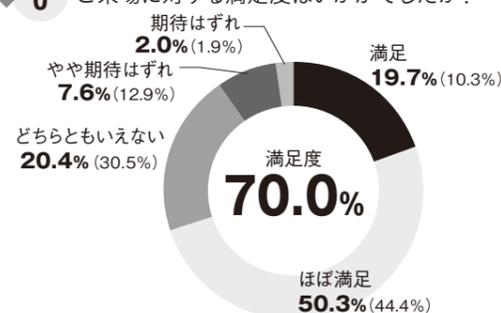
Q3 会場での滞在時間を教えてください



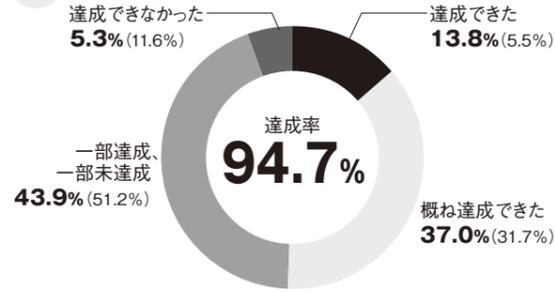
Q5 今後どのような出展品目の増加を望みますか？(複数回答可)



Q6 ご来場に対する満足度はいかがでしたか？



Q2 それらの目的は達成できましたか？



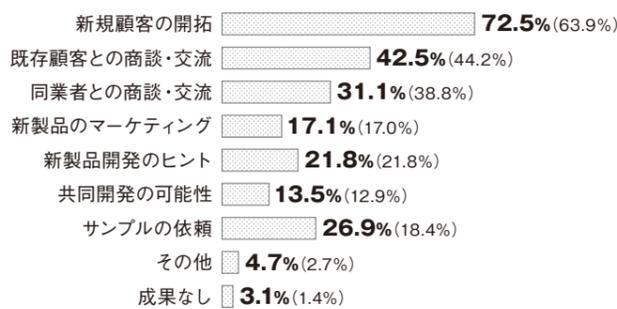
Q4 会期中の商談件数は何件でしたか？



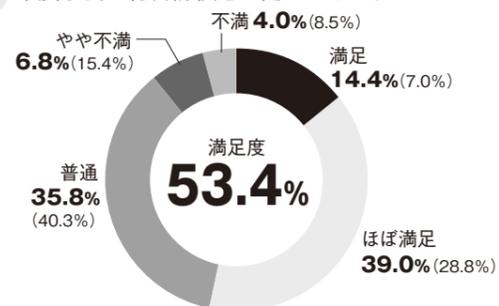
Q6 会期中の成約金額はどのくらいでしたか？



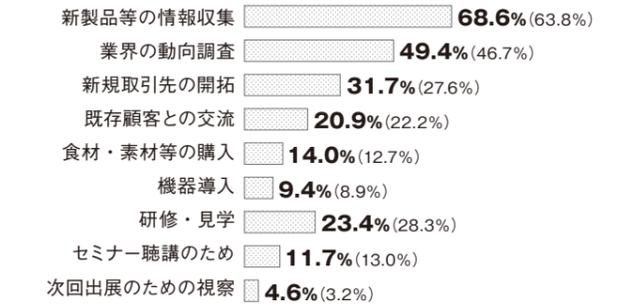
Q8 どのような成果がありましたか？(複数回答可)



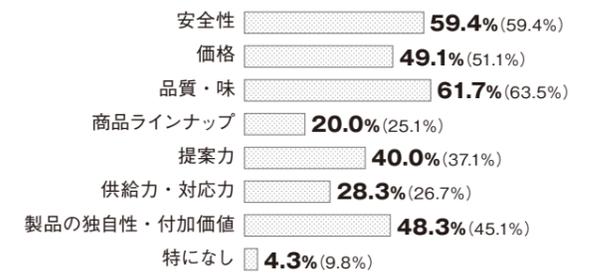
Q9 本展示会の総合評価をお聞かせください



Q2 ご来場の主な目的は何でしょうか？(複数回答可)



Q4 仕入れ先や取引先に要求する条件として、特に重要視するものは何ですか？(複数回答可)



Q7 来場地域

新潟	64.0%	—
東北	4.9%	秋田県・宮城県・山形県・福島県
北信	4.0%	富山県・石川県・福井県・長野県
関東	24.9%	東京都・埼玉県・千葉県・群馬県・栃木県
近畿	1.4%	大阪府・京都府・兵庫県
四国・九州	0.8%	福岡県・愛媛県

※一部、本社所在地で集計。



オープニングセレモニー



関係機関や協力各社など、総勢17名によるテープカットで開幕。新潟市が港町にふさわしくジャズにゆかりがある街であることから、ジャズの生演奏が開会を盛り上げた。



【開会式】
11月4日(水)
9:30よりセレモニー開始
10:00開場

セミナー

初日には、新潟戦略2015をテーマにした基調講演や、国家戦略特区に参画する各企業戦略をテーマにしたシンポジウム、セミナーを開催し、多数の参加者が耳を傾けた。また二日目には、6次産業化に注目した基調講演、シンポジウム、セミナーを開催。6産業化応援ファンドの活用事例なども紹介された。そのほか、地域市場開発、海外市場開発など新たなマーケットをいかに開拓していくかなどのセミナーを開催。地域や業種を越えた新たな出会いが、各種セミナーを通じて生まれた。



11/4(水)【国家戦略特区】視点

10:30▶11:10
●基調講演「新潟戦略2015」
 【講師】新潟市長 篠田 昭

11:30▶13:00
●シンポジウム「国家戦略特区2015」

【コーディネーター】日本食糧新聞社 代表取締役会長CEO 今野 正義
 【パネリスト】新潟市長 篠田 昭
 (株)新潟農商 代表取締役社長 伊藤 公博 氏
 (株)イトヨーカ堂 青果部セブンファーム担当 久留原 昌彦 氏

13:30▶14:15
●セミナー「国家戦略特区でのローソン戦略」
 【講師】(株)ローソン 商品本部農業推進部長 下澤 洋 氏

14:30▶15:15
●セミナー「ゲノムが拓く、枝豆の未来」
 【講師】Genomedia(株) 代表取締役社長 山田 智之 氏
 (株)電通 主管 吉野 公貴 氏

11/5(木)【地方創生・6次化】視点

10:30▶11:10
●基調講演「6次化は新産業創出の切り札」
 【講師】新潟経済同友会 筆頭代表幹事 NSGグループ 代表 アルビレックス新潟 取締役会長 池田 弘 氏

11:30▶12:45
●シンポジウム「6次化の課題と将来展望」
 【コーディネーター】日本食糧新聞社 新製品トレンド 編集長 武藤 麻子 氏
 【パネリスト】農林水産省 大臣官房審議官 大角 亨 氏
 新潟経済同友会 筆頭代表幹事 池田 弘 氏
 (有)フジタファーム 代表取締役 藤田 毅 氏

13:00▶13:45
●セミナー「6次化の現場の最先端 地産地消と循環型農業経営の実践〜ほくえつ六次産業化応援ファンド活用〜」
 【講師】(有)フジタファーム 代表取締役 藤田 毅 氏
 (株)北越銀行 コンサルティング営業部

14:00▶14:45
●セミナー「パンと日本酒のマリアージュ」
 【講師】(株)セラビ 取締役 潘屋さんめぐりの会 代表 片山 智香子 氏

11/6(金)【地域市場開発】視点

11:00▶11:45
●セミナー「燕商工会議所(HIENプロジェクト)の6次化挑戦〜農業者・メーカー・SM・大学教授・デザイナーの試行錯誤〜」
 【講師】燕商工会議所 経営支援課 小柳 薫 氏

13:00▶13:45
●セミナー「新潟発! 新開発米“新之助”の食味と可能性」
 【講師】新潟大学 産学地域連携推進センター長 大学院自然科学研究科教授 農学部応用生物化学科教授 大坪 研一 氏

14:00▶14:45
●セミナー「タイにおける日本食品市場の現状」
 【講師】(株)日本政策金融公庫 バンコク駐在員事務所 駐在員 柴崎 裕二 氏

15:00▶15:45
●セミナー「真澄の海外戦略」
 【講師】宮坂醸造(株) 海外オペレーション担当 キース・ノラム 氏

「フードメッセ in いがた」では、地方の食品産業の活性化策として国が推進する6次産業化にいち早く注目を、共通の課題である販路開拓を支援してきた。

2013年には隣接県にも呼びかけ、「6次産業化商品展示コーナー」を設置。来場バイヤーに6次化商品を手にとってもらえる機会を無償提供した。2014年には A-FIVE (株)農林漁業成長産業化支援機構)と連携し、実際にバイヤーとの商談機会を持てる「6次化フェア」をコーナーとして展開。展示会に出展経験のない小規模事業者でも出展しやすい条件を整え、19社の出展を得た。

そして、2015年。優秀な6次化事業者の販路開拓を強力にバックアップする「6次化大賞」を新設、最終審査を「6次化オーディション」として公開して来場バイヤーにアピールするとともに「個別商談会」も実施した。「6次化」をテーマにしたシンポジウムやセミナーの開催、6次産業化中央サポートセンターのプランナーによる「相談コーナー」の開設など、6次産業化ビジネスに関わる情報発信・情報収集の場として「6次化フェア」は機能した。



【6次化大賞最終選考会】6次化オーディション

新設された「6次化大賞」の最終審査会を兼ねて、会場内特設ステージで「6次化オーディション2015」を2日間にわたって開催。最終選考に残った11事業者が審査委員と聴講者を前に、熱のこもったプレゼンテーションを披露した。プレゼン後、審査委員からは温かくも厳しい意見・アドバイスがあり、事業者の今後の事業計画のブラッシュアップにつながる機会ともなった。

【審査委員長】 今野正義 (日本食糧新聞社代表取締役会長 CEO)
【審査委員】 箕田出 (新潟市農業活性化研究センター センター長)
 杉崎信良 (新潟市調理師会会長・元 万代シルバーホテル総料理長)
 鈴木研二 (株)魚栄商店 代表取締役社長)
 桶矢茂守 (6次産業化中央サポートセンタープランナー、(有)セレンディブ マネージャー) (順不同)



〜6次化大賞最終選考 結果〜

11社のプレゼンテーションを、5名の審査委員がそれぞれの専門分野からの視点も加えて厳正に審査し、最優秀賞の「6次化大賞」以下、下記の授賞を決定し、表彰した。



6次化大賞	(株)秀果園 (長野県東御市)
新潟市長賞	新潟麦酒(株) (新潟県新潟市)
日本食糧新聞社賞	(株)キノコハウス (福島県耶麻郡西会津町)
入賞	きたやつハム(株) (長野県南佐久郡佐久穂町)
	九重味淋(株) (愛知県碧南市)
	(有)のむら農産 (石川県小松市)

【最終選考参加企業】(有)朝日池総合農場 (新潟県上越市)、小柳農園 (新潟県新潟市)、(株)上州農産 (群馬県前橋市)、(株)長門牧場 (長野県小県郡長和町)、(株)なかひら農場 (長野県下伊那郡松川町) (50音順)

6次化フェア個別商談会

6次化事業者に共通する課題である「流通との接点の強化」を目的に企画運営された6次化フェア個別商談会。

出展事業者から事前に提出された商談意向アンケートとFCP展示会・商談会シートをもとに、地域産品・6次化商品の発掘に関心のあるバイヤーを事務局が抽出、スケジュールなどを事前調整して、確度の高いビジネスマッチングを実現する「個別商談」を運営した。会場内に設置した個別商談専用テーブルで3日間にわたって展開された商談数は延べ95件。

会期終了後のヒアリングでは、すでに具体的な新規取引が始まっている事業者が複数あるなど、成果の見える企画となった。

バイヤーに提供する出展者の商品情報は、FCP展示会・商談会シートに落とし込み、「6次化フェアガイドブック」として編集・制作。関心を持って本コーナーに立ち寄るバイヤーに配布した。自社商品の特徴・メリットを伝える「表現力」についても、レベルアップされたものが多く、会場内で熱心にガイドに目を通すバイヤーの姿が目立った。



6次化相談コーナー

6次産業化事業者の育成・支援を目的に国によって設立された A-FIVE (株式会社農林漁業成長産業化支援機構) および6次産業化中央サポートセンターの全面的な協力を得て、出展事業者だけでなく、来場する1次産業事業者の「6次化」に関するさまざまな悩み・疑問に答えることを目的に、「6次化相談コーナー」を開設。

中央サポートセンターから派遣された6名のプランナーが、寄せられるさまざまな相談に対応し、アドバイスを行なった。



各種媒体への開催告知

第7回食の国際見本市
「フードメッセ in にいがた2015」
11月4日(水)～6日(金)に開催
http://foodmesse.jp

食の国際見本市「フードメッセ in にいがた2015」は、11月4日～6日(水～金)の3日間、にいがた県立大会館(新潟市中央区)で開催される。主催は「フードメッセ in にいがた」実行委員会(新潟市)と、協賛する新潟県、新潟市、本州日本商船振興会の食の国際見本市として誕生した。今年77回目。食の国際見本市専門商談会に特化して、国内外からビジネス拡大を目指す企業、食品・食材、機器・包装、産学連携分野の200社の出展社を集め、フリー商談、個別商談を通じて新たなビジネスを創出する。(山田由紀子)

「フードメッセ in にいがた」は、11月4日～6日(水～金)の3日間、にいがた県立大会館(新潟市中央区)で開催される。主催は「フードメッセ in にいがた」実行委員会(新潟市)と、協賛する新潟県、新潟市、本州日本商船振興会の食の国際見本市として誕生した。今年77回目。食の国際見本市専門商談会に特化して、国内外からビジネス拡大を目指す企業、食品・食材、機器・包装、産学連携分野の200社の出展社を集め、フリー商談、個別商談を通じて新たなビジネスを創出する。(山田由紀子)

★近代食堂(2015年11月号)

さらに飛躍へ 新潟創生チャレンジ

2016年11月10日(日)開催
篠田昭新潟市長に聞く

多彩な魅力と特区効果を国内外発信
産業横断型の革新的農業推進

12次産業化で地方創生図る

2016年11月10日(日)開催
開き手=本紙・今野正義代表取締役会長 CEO

「フードメッセ in にいがた2015」は、11月4日～6日(水～金)の3日間、にいがた県立大会館(新潟市中央区)で開催される。主催は「フードメッセ in にいがた」実行委員会(新潟市)と、協賛する新潟県、新潟市、本州日本商船振興会の食の国際見本市として誕生した。今年77回目。食の国際見本市専門商談会に特化して、国内外からビジネス拡大を目指す企業、食品・食材、機器・包装、産学連携分野の200社の出展社を集め、フリー商談、個別商談を通じて新たなビジネスを創出する。(山田由紀子)

フードメッセ in にいがた2015

2015年 11/4(水)～6(金) 10:00～17:00
朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター
事前来場登録受付中!

セミナーのご案内

11/4(水) 10:00～11:00
11/5(木) 10:00～11:00
11/6(金) 10:00～11:00

「フードメッセ in にいがた2015」は、11月4日～6日(水～金)の3日間、にいがた県立大会館(新潟市中央区)で開催される。主催は「フードメッセ in にいがた」実行委員会(新潟市)と、協賛する新潟県、新潟市、本州日本商船振興会の食の国際見本市として誕生した。今年77回目。食の国際見本市専門商談会に特化して、国内外からビジネス拡大を目指す企業、食品・食材、機器・包装、産学連携分野の200社の出展社を集め、フリー商談、個別商談を通じて新たなビジネスを創出する。(山田由紀子)

★日本食糧新聞(2015年10月5日付)

フードメッセ in にいがた2015

きょう開幕6日まで

2015年の食

「フードメッセ in にいがた2015」は、11月4日～6日(水～金)の3日間、にいがた県立大会館(新潟市中央区)で開催される。主催は「フードメッセ in にいがた」実行委員会(新潟市)と、協賛する新潟県、新潟市、本州日本商船振興会の食の国際見本市として誕生した。今年77回目。食の国際見本市専門商談会に特化して、国内外からビジネス拡大を目指す企業、食品・食材、機器・包装、産学連携分野の200社の出展社を集め、フリー商談、個別商談を通じて新たなビジネスを創出する。(山田由紀子)

★日本食糧新聞(2015年11月4日付)

フードメッセ in にいがた

6次化フェア・セミナーなど

「フードメッセ in にいがた2015」は、11月4日～6日(水～金)の3日間、にいがた県立大会館(新潟市中央区)で開催される。主催は「フードメッセ in にいがた」実行委員会(新潟市)と、協賛する新潟県、新潟市、本州日本商船振興会の食の国際見本市として誕生した。今年77回目。食の国際見本市専門商談会に特化して、国内外からビジネス拡大を目指す企業、食品・食材、機器・包装、産学連携分野の200社の出展社を集め、フリー商談、個別商談を通じて新たなビジネスを創出する。(山田由紀子)

★日本食糧新聞(2015年10月28日付)

<開催レポート>

6次産業化に注力 「フードメッセ in にいがた2015」開催

「フードメッセ in にいがた2015」は、11月4日～6日(水～金)の3日間、にいがた県立大会館(新潟市中央区)で開催される。主催は「フードメッセ in にいがた」実行委員会(新潟市)と、協賛する新潟県、新潟市、本州日本商船振興会の食の国際見本市として誕生した。今年77回目。食の国際見本市専門商談会に特化して、国内外からビジネス拡大を目指す企業、食品・食材、機器・包装、産学連携分野の200社の出展社を集め、フリー商談、個別商談を通じて新たなビジネスを創出する。(山田由紀子)

★財界にいがた(2015年12月号)

農業6次化道筋探る

経営者ら「人材育成が大切」

食の見本市「フードメッセ」講座

「フードメッセ in にいがた2015」は、11月4日～6日(水～金)の3日間、にいがた県立大会館(新潟市中央区)で開催される。主催は「フードメッセ in にいがた」実行委員会(新潟市)と、協賛する新潟県、新潟市、本州日本商船振興会の食の国際見本市として誕生した。今年77回目。食の国際見本市専門商談会に特化して、国内外からビジネス拡大を目指す企業、食品・食材、機器・包装、産学連携分野の200社の出展社を集め、フリー商談、個別商談を通じて新たなビジネスを創出する。(山田由紀子)

★新潟日報(2015年11月6日付)

<テレビ>

局名	番組名
NHK	新潟ニュース610 新潟ニュース845
TeNYテレビ新潟	夕方ワイド新潟一番
NST新潟総合テレビ	FNN・NST みんなのニュース
新潟放送	Nスタにいがた
UX新潟テレビ21	スーパーJにいがた
日本テレビ	news every.

他 北陸中日新聞(2015年12月1日付)
朝日新聞朝刊新潟版(2015年12月2日付)など、多数掲載

フードメッセ開幕

農業6次化 取り組み発信

「フードメッセ in にいがた2015」は、11月4日～6日(水～金)の3日間、にいがた県立大会館(新潟市中央区)で開催される。主催は「フードメッセ in にいがた」実行委員会(新潟市)と、協賛する新潟県、新潟市、本州日本商船振興会の食の国際見本市として誕生した。今年77回目。食の国際見本市専門商談会に特化して、国内外からビジネス拡大を目指す企業、食品・食材、機器・包装、産学連携分野の200社の出展社を集め、フリー商談、個別商談を通じて新たなビジネスを創出する。(山田由紀子)

★日本経済新聞朝刊新潟版(2015年11月5日付)

過去最大規模

農業特区効果で6次産業化進展

「フードメッセ in にいがた2015」は、11月4日～6日(水～金)の3日間、にいがた県立大会館(新潟市中央区)で開催される。主催は「フードメッセ in にいがた」実行委員会(新潟市)と、協賛する新潟県、新潟市、本州日本商船振興会の食の国際見本市として誕生した。今年77回目。食の国際見本市専門商談会に特化して、国内外からビジネス拡大を目指す企業、食品・食材、機器・包装、産学連携分野の200社の出展社を集め、フリー商談、個別商談を通じて新たなビジネスを創出する。(山田由紀子)

★日本食糧新聞(2015年11月18日付)

各地自慢の食

「フードメッセ in にいがた2015」は、11月4日～6日(水～金)の3日間、にいがた県立大会館(新潟市中央区)で開催される。主催は「フードメッセ in にいがた」実行委員会(新潟市)と、協賛する新潟県、新潟市、本州日本商船振興会の食の国際見本市として誕生した。今年77回目。食の国際見本市専門商談会に特化して、国内外からビジネス拡大を目指す企業、食品・食材、機器・包装、産学連携分野の200社の出展社を集め、フリー商談、個別商談を通じて新たなビジネスを創出する。(山田由紀子)

★新潟日報(2015年11月5日付)

主 催

フードメッセ in にいがた運営会議・新潟市

主 管

日本食糧新聞社・(株)新宣・カシヨ(株)
食と花の世界フォーラム組織委員会

事務局

フードメッセ in にいがた2015運営事務局
(日本食糧新聞社内)

〒103-0028

東京都中央区八重洲1-9-9 東京建物ビル5F
日本食糧新聞社ビジネスサポート本部

<http://foodmesse.jp>

次回開催のご案内

フードメッセ

in にいがた2016

2016年11月16日(水)～18日(金)

朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター「展示ホール」